

報告(6) ヘルプマーク用啓発シールの作成について

「第6次きさらづ障がい者プラン」の基本施策「みんなが理解し合えるまちづくり」の中で、アートとのコラボによる「木更津デザイン版ヘルプマーク」の作成に取り組む事としている。

R7年2月に市民アンケートを実施した結果、既存のヘルプマークの「認知度の向上」「利用法の周知」の他、支援内容の明確化に関する意見が多くあった。そこで、部会内で検討を重ねた結果、難病、内部障害、義足や聴覚障害など、外見ではわかりづらくても援助や配慮を必要としている方が活用できるように、既存のヘルプマークやスマホ、手帳、杖などに貼って、具体的な援助や配慮を周りに知らせることができるシールを作成する事とした。

シールの仕様については、外での使用が多く、障害特性によっては自分で剥がしてしまう人もいる事から、耐久性があり防水加工素材で作成する。

また、作成に当たっては、部会内の検討にとどまらず、小中学生を含む幅広い層から意見を収集し、反映していく方針で進めていく。